

NEWS BOX

NEWS 01

社会人との対話による キャリア発達支援事業

高校生と若手社会人が 職業や社会生活について語り合う

宮城県では、県内の中学校及び高等学校の各年代において、勤労観・職業観の醸成、社会的・職業的自立及び地元定着の促進等に効果的な地域特性を踏まえたキャリア教育プログラムをNPO等に委託し、地域の未来を担う人材育成を支援しています。

高校生を対象とした取組は、若手社会人が学生10人程度に「会社を選んだ理由」、「仕事の内容」や「やりがい」などを車座になって話し、対話を通じて自らの職業観を深めていくものです。昨年度は県内の高校生約600人(延べ)に参加していただきました。

参加した生徒からは、「将来どのように生きていくかを考えるきっかけになった」、「これから将来の仕事を決めていくにあたって、どのようなことを大切にしていけばよいかを考えることができた」、「地元のために何ができるのかについて改めて気づくことができた」などの意見が出ていて、今後の進路選択に活かせる内容となっています。

今年度も予定していますので、対象となった学校の皆さんには、積極的に関わって欲しいと思います。



授業全体像



教室での社会人との対話の様子

NEWS 02

みやぎジョブカフェ キャリア教育セミナー

進路選択や働くことの 心構えなどの理解を深める

みやぎジョブカフェでは、県内の高等学校等に専門の講師を派遣し、生徒及びその保護者・教員を対象に「キャリア教育セミナー」を実施しています。

セミナーの実施内容例(セミナー内容は相談に応じます)

- 進路選択【仕事と将来を考える、進路実現へ向けて心がけたこと など】
- 職業観・職業意識の醸成【働くことの心構え、自己理解 など】
- 職業体験準備【職場体験に向けたビジネスマナー など】
- 内定者準備【社会人の心構え、働く上でのトラブル予防 など】

そのほか「就職準備」「保護者向けセミナー」など

参加した学生からは、「世の中にはいろいろな企業があるが、どの企業にもあいさつ、コミュニ



セミナー受講の様子(働くことの心構え)

技の肖像

Portrait of Skills



右：代表 関谷さん 左：工場長 佐々木さん

仙台(たんす) 村の家具屋(木地製作) 注文家具

村の家具屋 木響

代表 関谷 周一さん
工場長 佐々木 淳一さん

「不格好でも嘘のない、粋なものに囲まれていたい」という関谷周一さんと佐々木淳一さん。里山と山里の間にたたずむ工房「木響」で、注文家具などの木工品を手掛ける職人だ。

関谷さんは、宮城工業高等専門学校(現・仙台高等専門学校)で情報デザインを学び、卒業後は埼玉県の職業訓練校で木工の基礎を習得。一方、古川高等学校を卒業後、石巻高等技術専門校に入学した佐々木さんの実家は3代続く家具屋。二人の出会いが前職の家具製作会社で、面接官と就活者の立場だった。13年の修行から独立の道を歩み始めた関谷さんは、後に独立した佐々木さんにパートナーとしての道を提案する。以来10年余り、自分たちが信じる「ものづくり」を目指し、研鑽し続けてきた。

経済産業大臣指定の伝統的工芸品・仙台筆筒。「作り始めたころ、仙台筆筒は伝統的工芸品として国指定されていなかった」という関谷さん。そんな折、仙台の老舗家具店から伝統的な仙台筆筒の製作依頼が舞い込む。それは指定を受けるため必要な作業で、重責を担うものだった。金具や塗りの職人と製作に当たり、平成27年、仙台筆筒は伝統的工芸品に指定され、後に関谷さんは高度な技術が認められ「伝統工芸士」と認定された。

「こだわっているのは地域の木材でものを作ること。流通が少ないクリやケヤキなどの広葉樹を使い、木の個性を生かす製作をする。端材で小物を作り、それでも残った部分は暖房に。「使い尽くす」のが木響流。少しずつ始めた植林。今後は1年間に使った本数の木を植樹していきたいと加えた。

お問い合わせ

村の家具屋 木響

所在地 宮城県大衡村

E-mail info@wwkikyo.com

URL http://wwkikyo.com

